

基本情報



【年齢】
42歳
【出身地】
北海道上川郡美瑛町
【転出元】
東京都青梅市
【前職】
林業、山林土木現場作業員
【活動時期】
R4.5～R7.5
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

出身の美瑛町が畑作が盛んな地域で、子どものころから農家の手伝いをしていたので農作業や体を使う仕事が好きでした。

東京に出た後に山登りを始めましたが、次第に山や自然豊かなところで暮らしたいと思い始めました。

その後、東京の奥多摩での林業の仕事を通して自然の中で働く気持ちよさに触れ、地方に移住することを本格的に考え始めました。

数年前に東京で開かれた「新・農業人フェア」で柿崎の方々を知り合いになり、2度ほど柿崎を訪れました。そこで東横山の景色のすばらしさに触れ、住んでみたいと思いました。また、移住者を含む若手の農家で構成される農業団体「柿崎を食べる会」をはじめ、柿崎の農家の方々が生き生きと農業をする姿を見て、この場所で農業がしたいと思いました。

いろいろと相談するうちに協力隊の制度を知り、応募してみようと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

まず第一に稲作技術を習得し、一人前の農家となることを目指したいと思います。また、林業の経験を活かし、集落の山林の維持管理にも貢献していきたいと思っています。

東横山の棚田はとても素晴らしいものですが、休耕地として雑草が生い茂っている田んぼも多くあります。自分が農家になることで、今ある棚田を維持していきたいと思っています。

そして、現在は放棄されている田んぼも別の作物に転用するなどして再び耕地に戻せるよう努力していきたいと思っています。

活動内容

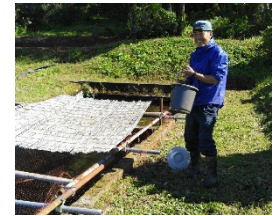
●稲作技術習得

「柿崎を食べる会」の方の指導のもとで、稲作技術の習得に取り組んでいます。今年は水田の田起こし、代掻きや除草作業からコンバインでの収穫などを経験しました。また、復田した休耕地で蕎麦の栽培を行いました。



●大出口泉水周辺の環境保全

東横山には環境省選定の「平成の名水百選」に選ばれた大出口泉水があります。日々多くの人々が名水を汲むために訪れる場所であり、日本海も一望できる景勝地なので、訪れた人が気持ちよく過ごせるように草刈りをするなど保全に努めています。また、以前よりその水を使いニジマスの養殖がおこなわれていた場所でもあり、現在はその設備を借りてイワナの養殖に取り組んでいます。



●地域の特産品づくり

東横山は尾神岳から風が吹き下ろすため、昔から美味しい干し柿ができるといわれています。今年は「柿崎を食べる会」が毎年行っている干し柿づくりを手伝わせていただきました。また、東横山は昼夜の寒暖差が大きく、おいしい野菜も取れるところです。今年は自分でも畑を借りて大豆やニンジン、ジャガイモなどを栽培しました。新たな地域の特産品となるような野菜を作れるよう、日々研究を重ねています。



●獣害対策・狩猟

上越市の「捕獲サポート隊員」として、集落に設置されたイノシシの箱罾の見回り業務を行っています。9月には罾猟免許を取得したので、今年の冬は自分でも罾を設置してみたいと思っています。農作物を荒らすイノシシなどの獣も、資源として有効活用していけたらと考えています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS】
Instaglam「住もっさ上越」(<https://www.instagram.com/sumossajoetsu/>)
Facebook「上越市地域おこし協力隊」(<https://www.facebook.com/joetsu.kyoryokutai>)